

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

加賀市立橋立小学校（石川県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用②



学習支援
ソフト

- ・発達段階に応じて、ペイント、テキスト、カメラといった色々な機能を活用して、自分の考えを表現できる。
- ・入力した自分の考えは、一覧表示されお互いの意見を比較することができる。
- ・自分の考えを入力したスライドをつなげて、プレゼン資料を作成し、アウトプットする場を増やす。
- ・児童は使い方に慣れ、機能をフルに活用して自分の考えを表現したり、友達の考えと比較したりしながら授業を楽しむ様子が見られた。



わたしはだれでしょうクイズの作成

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

家庭での利用

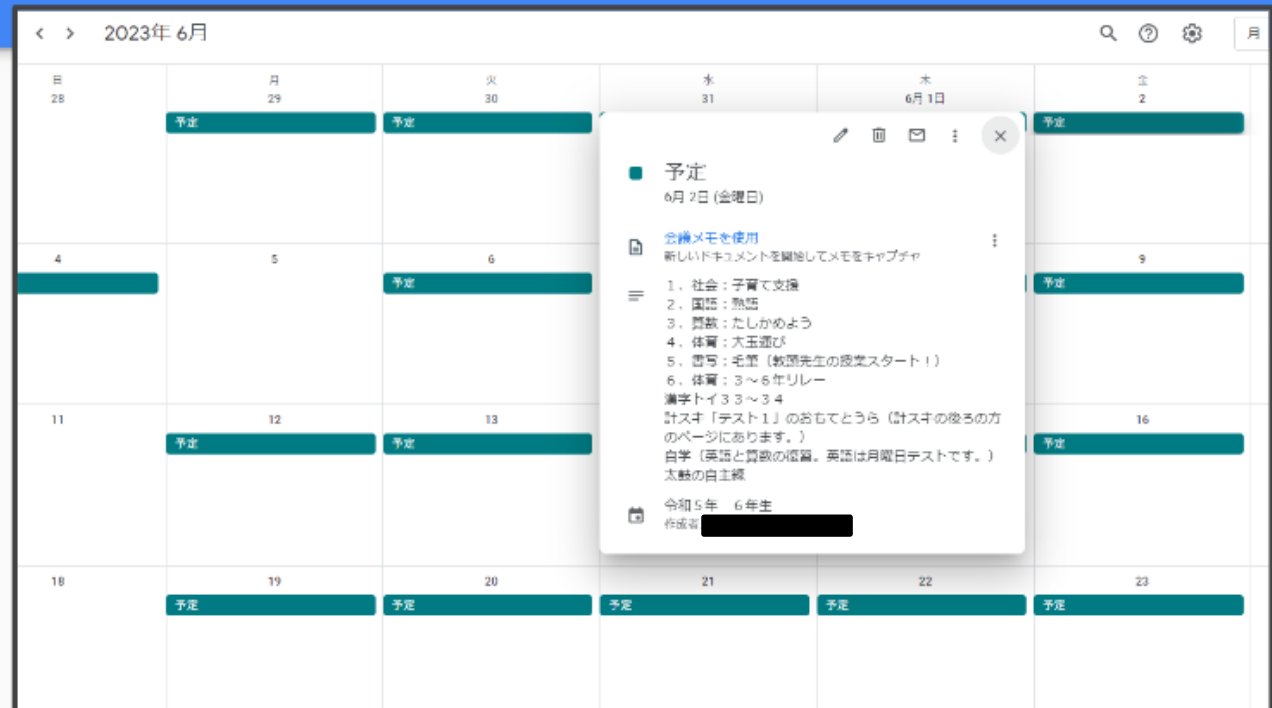
連絡帳を

カレンダーで共有

→書き込みが容易

→端末持ち帰り

→学習の自己調整



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

加賀市立橋立小学校（石川県）

【取組内容⑤】 授業公開、研究発表会を通して実践内容を加賀市内外に発信

◇6月22日 授業公開 参加者30名

1. 公開授業 6年 国語科

(加賀市立南郷小とのオンライン交流授業)

2. 学校DXアドバイザー「平井聡一郎氏」の講話



◇11月20日 研究発表会 参加者120名

1. 公開授業 2年 国語科 5年 算数科

2. 授業整理会

3. 学校DXアドバイザー「平井聡一郎氏」の講話



【2年国語科】

自分のペースで自分の話し方を録画したりモデル動画と比較しながら話し方確かめて、改善点を見つけたりする。

【6年国語科】

オンライン交流授業
自分が作った防災ポスターを「meet」を使って南郷小の児童へ伝え、表現の効果や図やグラフの表し方について交流をおこなう。



【5年算数科】

デジタル教科書のコンテンツとスクリーンキャプチャを活用して、面積を求める解説動画を撮影する。

